

4. 住宅建設

住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。

(前年同期(月)比、()内は季調済前期(月)比、%)

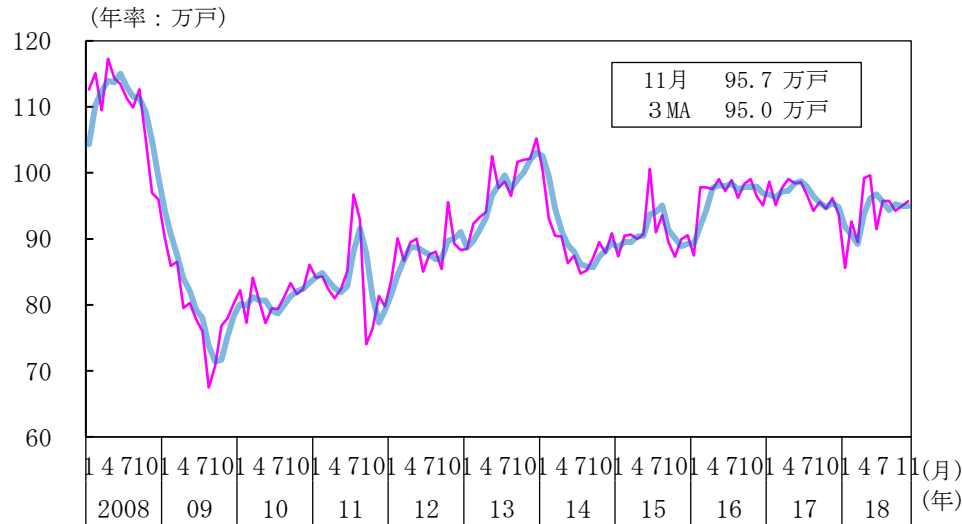
	[2016年] 2016年度	[2017年] 2017年度	2018年 1-3月	4-6月	7-9月	2018年 9月	10月	11月
新設住宅着工戸数 (万戸) (万戸)	[96.7] 97.4	[96.5] 94.6	89.2	96.8	95.3	94.3	95.0	95.7
	[6.4] 5.8	[▲ 0.3] ▲ 2.8	(▲ 5.9) ▲ 8.2	(8.5) ▲ 2.0	(▲ 1.6) ▲ 0.2	(▲ 1.6) ▲ 1.5	(0.8) 0.3	(0.8) ▲ 0.6
建築主が民間	[6.4] 5.9	[0.2] ▲ 2.6	(▲ 6.4) ▲ 8.7	(9.0) ▲ 2.0	(▲ 1.6) ▲ 0.2	(▲ 2.0) ▲ 1.6	(1.5) 0.8	(▲ 0.1) ▲ 1.0
持家	[3.1] 2.6	[▲ 2.7] ▲ 3.3	(▲ 0.7) ▲ 3.4	(2.6) ▲ 2.5	(▲ 1.6) 0.1	(1.6) ▲ 0.0	(4.5) 4.6	(▲ 2.4) 2.5
貸家	[10.5] 11.4	[0.2] ▲ 4.0	(▲ 2.5) ▲ 9.4	(3.9) ▲ 3.5	(▲ 0.2) ▲ 2.0	(▲ 4.6) ▲ 5.8	(▲ 4.3) ▲ 7.3	(3.0) ▲ 6.9
分譲	[3.9] 1.1	[1.9] ▲ 0.3	(▲ 11.4) ▲ 10.8	(18.4) ▲ 1.3	(▲ 1.6) 2.1	(0.8) 4.3	(2.3) 9.2	(4.2) 6.1
一戸建て	[8.1] 6.6	[3.3] 2.4	(▲ 4.2) ▲ 0.7	(6.2) 4.2	(▲ 2.1) 3.7	(0.7) 4.5	(4.9) 6.0	(▲ 4.6) 0.1
マンション	[▲ 0.6] ▲ 4.8	[0.2] ▲ 3.5	(▲ 16.4) ▲ 21.9	(31.1) ▲ 6.7	(▲ 0.9) 0.1	(3.0) 3.9	(▲ 3.4) 14.2	(19.5) 14.3
着工床面積	[4.2] 4.1	[▲ 0.9] ▲ 3.6	(▲ 5.5) ▲ 9.3	(7.2) ▲ 3.8	(▲ 1.8) ▲ 0.9	(▲ 0.9) ▲ 1.6	(3.1) 2.2	(0.2) 0.8
建築主が民間	[4.2] 4.1	[▲ 0.4] ▲ 3.4	(▲ 5.9) ▲ 9.8	(7.5) ▲ 3.8	(▲ 1.8) ▲ 0.9	(▲ 1.3) ▲ 1.6	(3.6) 2.4	(▲ 0.3) 0.5
工事費予定額平米単価 (万円) (万円)	[18.9] 19.2	[19.4] 19.3	19.2	19.4	19.2	19.2	19.2	19.5
	[1.3] 2.0	[2.7] 0.5	▲ 3.9	▲ 1.8	1.5	1.7	▲ 0.9	2.5

(備考) 国土交通省「建築着工統計」により作成。

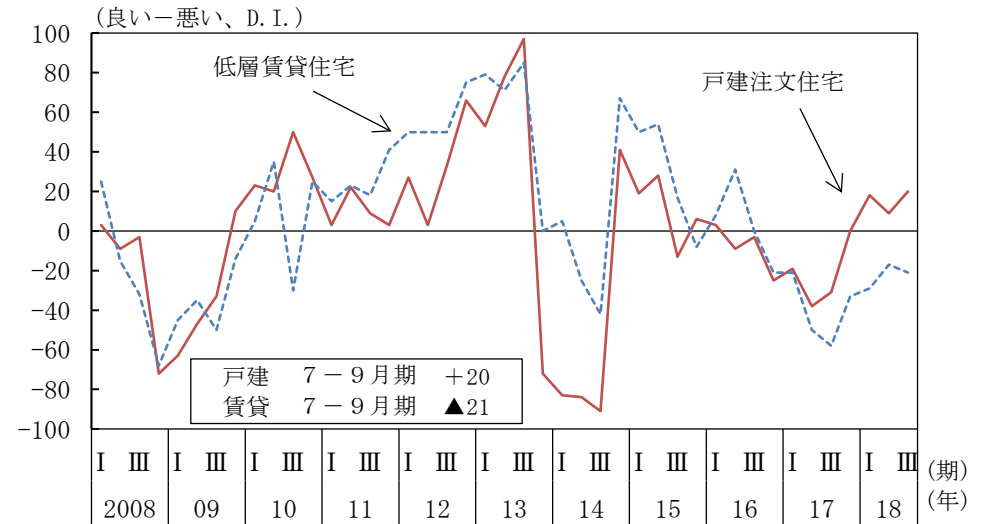
なお、「建築主が民間」とは、建築主別の「会社」、「会社でない団体」、「個人」の合計を、内閣府において季節調整したものである。

また、「工事費予定額平米単価」は、「居住専用+居住産業併用×0.7」の工事費予定額、着工床面積により算出した。

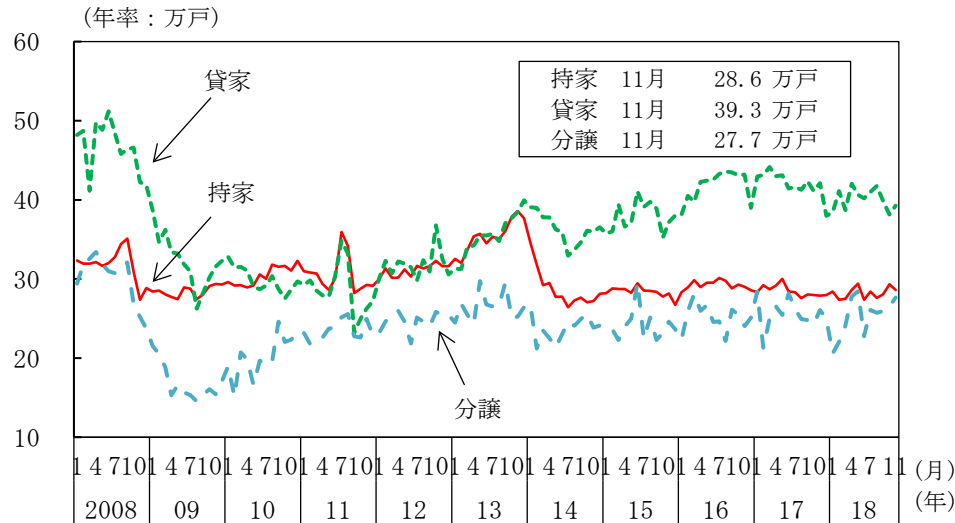
住宅着工戸数（季節調整値）



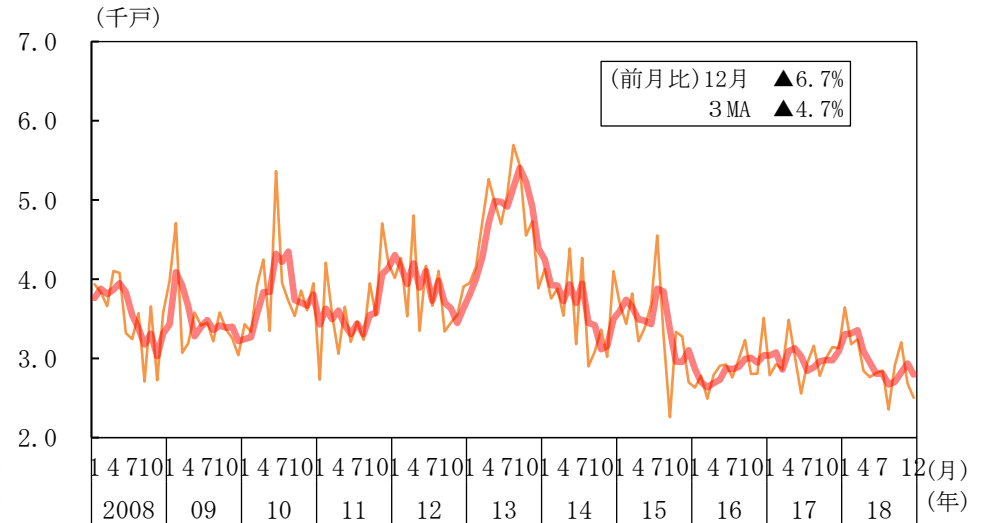
住宅景況判断指数（受注戸数）



利用関係別住宅着工戸数（季節調整値）



首都圏のマンション総販売戸数（季節調整値）



- (備考) 1. 国土交通省「建築着工統計」、(一社)住宅生産団体連合会「経営者の住宅景況感調査」、(株)不動産経済研究所資料により作成。太線は後方3か月移動平均。
2. 住宅景況判断指数(受注戸数)は、住宅生産団体連合会の企業会員等18社の経営者を対象に、受注戸数の前年同期比(実績)について「10%程度以上良い」から「10%程度以上悪い」の5段階の評価に応じた評点により加重平均して算出した値(-100~+100)。
3. 首都圏のマンション総販売戸数は内閣府による季節調整値。